

平成29年度 第4回
九州地方整備局 事業評価監視委員会

国道34号
たけお
武雄バイパス

- ① 事業採択後3年経過して未着工の事業
- ② 事業採択後5年経過して継続中の事業
- ③ 着工準備費又は実施計画調査費の予算化後3年経過した事業
- ④ 再評価実施後3年経過した事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業



1. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

- ・武雄バイパスは、**武雄市街地の通過交通を排除し、沿線地域の交通環境の改善等を目的とする事業。**

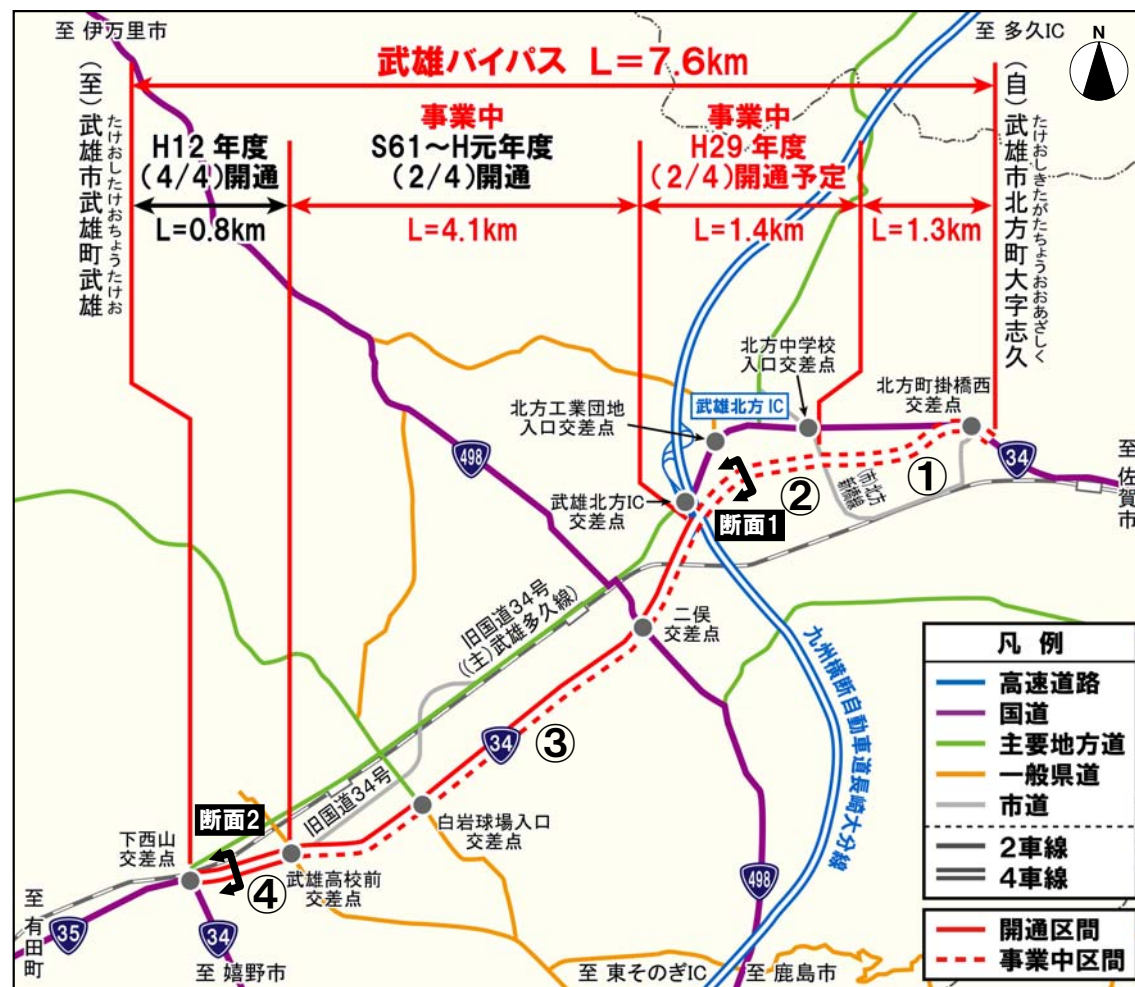
◆事業概要

- ・本事業は、**完成4車線のバイパス事業。**

計画延長等	L=7.6km (第3種第1級、設計速度80km/h) (第4種第1級、設計速度60km/h)
幅員	W=25.0~30.0m (4車線)
計画交通量 (H42)	①21,600台/日 ②23,300台/日 ③29,900台/日 ④28,400台/日

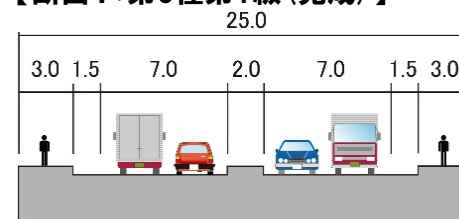
▼事業経緯

昭和49年度	事業着手
昭和55年度	都市計画決定、用地着手
昭和57年度	工事着手
昭和61年度	L=2.7km 部分開通 (2/4)
昭和63年度	L=0.9km 部分開通 (2/4)
平成元年度	L=0.5km 部分開通 (2/4)
平成12年度	L=0.8km 完成開通 (4/4)
平成21年度	工事着手 (L=1.4km区間)

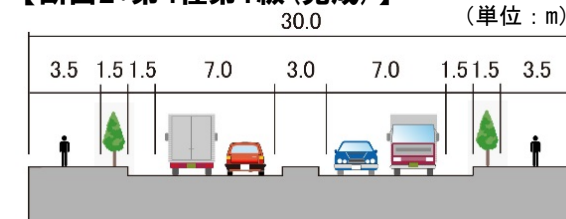


▲ 路線概要図

【断面1:第3種第1級(完成)】



【断面2:第4種第1級(完成)】



▲ 標準断面図

※事業進捗率:約70%、用地進捗率:約77%

※事業進捗率は事業費ベース (平成28年度末) 増額を含む数値

2. 事業の進捗状況(※全体)

- S49事業化、S55から用地買収着手、S57から工事着手。
- H12迄、延長4.1km(武雄北方IC～武雄高校前)、2/4車線にて開通。
延長0.8km(武雄高校前～下西山)、4/4車線にて開通。

事業区間の状況



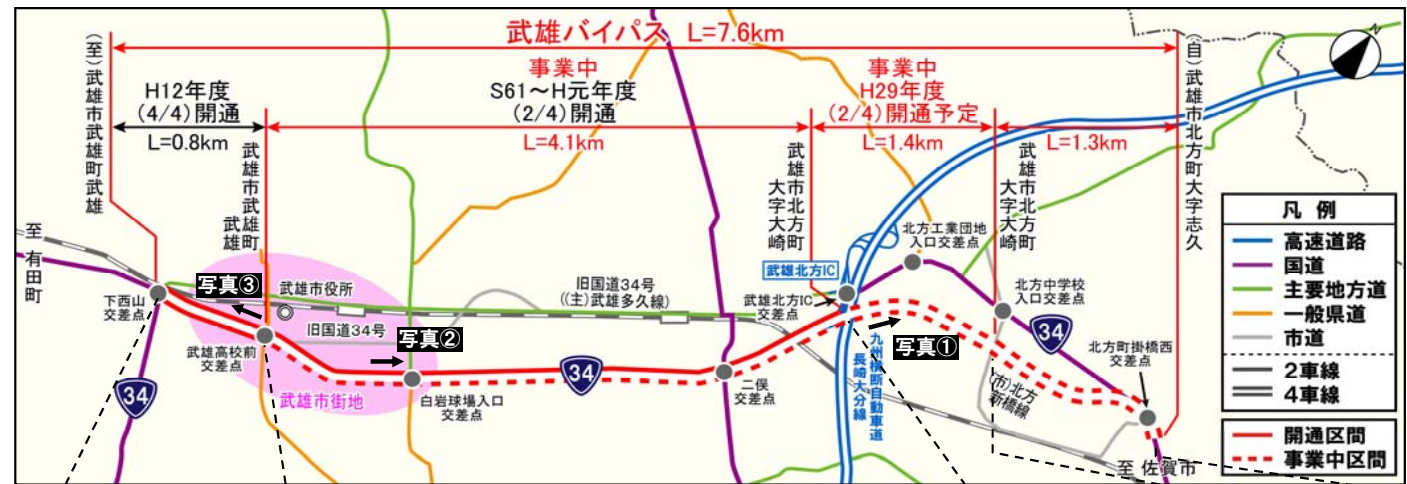
武雄市北方町大崎付近(写真①)



白岩球場入口交差点付近(写真②)



武雄高校前交差点付近(写真③)



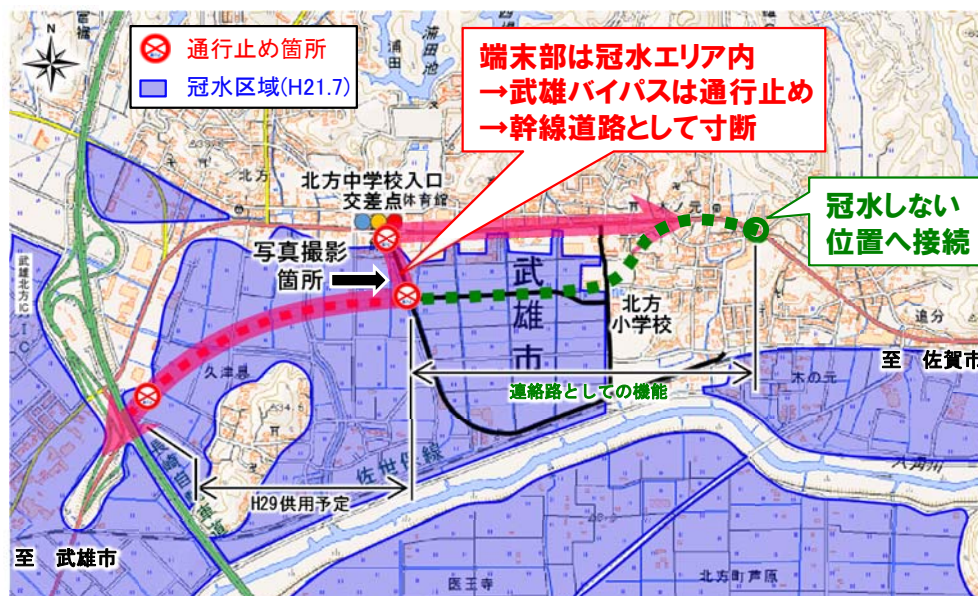
年度	武雄市武雄町武雄 ～武雄市武雄町武雄 (L=0.8km)	武雄市武雄町武雄 ～武雄市北方町大字大崎 (L=4.1km)	武雄市北方町大字大崎 ～武雄市北方町大字大崎 (L=1.4km)	武雄市北方町大字大崎 ～武雄市北方町大字志久 (L=1.3km)
S49	事業化			
S49～S54				
S55	用地買収着手			
S56				
S57	工事着手			
S58～S61				
S62			用地買収着手	
S63				
H元		開通(2/4)		
H2	用地買収・工事着手			
H3～H11				
H12	開通(4/4)			
H13～H20				
H21				
H22～H26			工事着手	
H27		前回評価(H27)		
H28				
H29			開通予定(2/4)	

2. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費増額内容: 約+40億円】

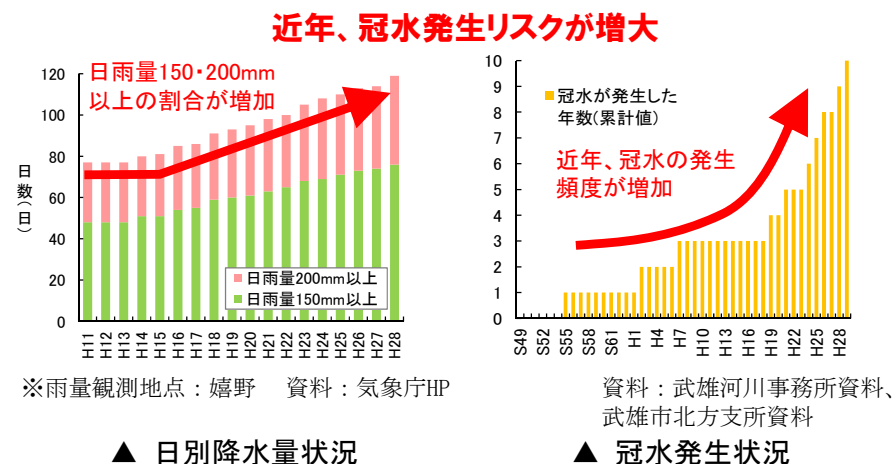
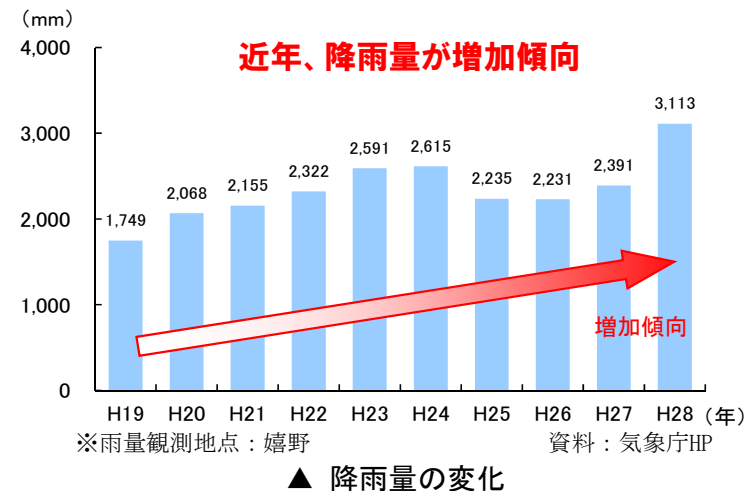
①連絡路整備に伴う増【約+40億円】

- ・武雄バイパス周辺では、昨今の気象状況の経年的な変化により、豪雨時の冠水頻度が増加。直近では平成29年7月の九州北部豪雨時に冠水が発生。
- ・冠水発生時は通行止めとなり、緊急輸送道路や幹線道路としての機能が寸断される。
- ・国道34号へ接続する端末部を冠水等の影響を受けない位置まで延伸し、信頼性の高いネットワークの確保が必要となった。



※国道34号は浸水実績なし

資料：平成21年7月の内水被害（武雄河川事務所HP）



▲九州北部豪雨時による冠水状況(H29.7.6)

3. 事業の効果・必要性(交通混雑の緩和)

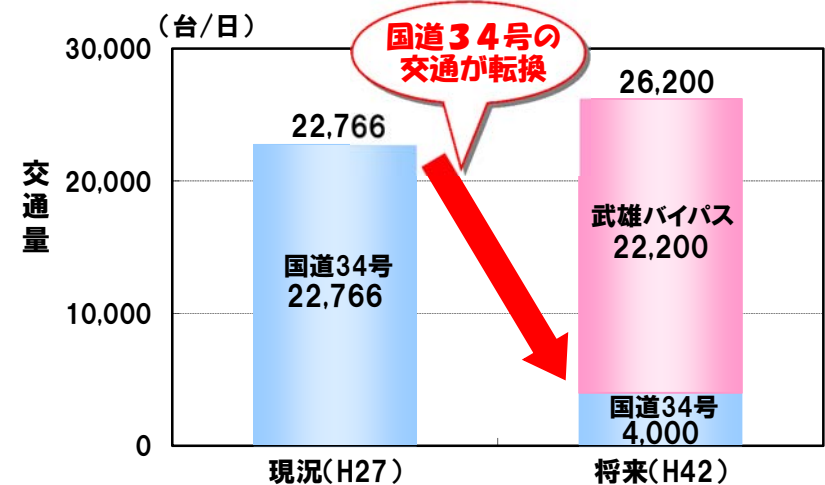
- 武雄バイパスと並行する国道34号には主要渋滞箇所が多数存在し、旅行速度が著しく低下している。
- 武雄バイパスの整備により、国道34号の交通が転換することで交通混雑が緩和し、走行速度の向上など交通の円滑化が期待される。



▲ 区間別の旅行速度



▲ 国道34号(並行現道)の交通状況(写真①)

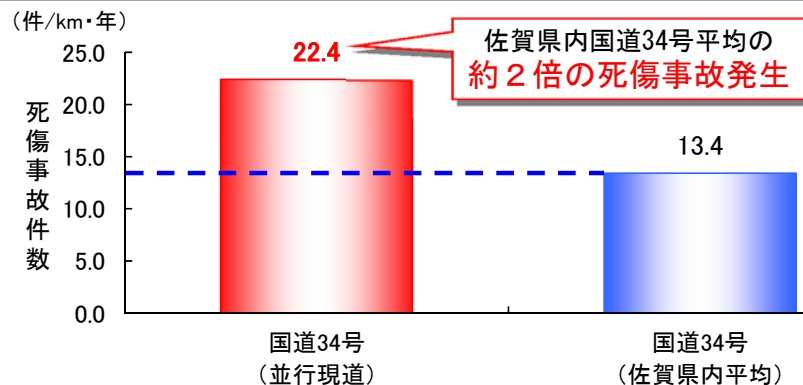
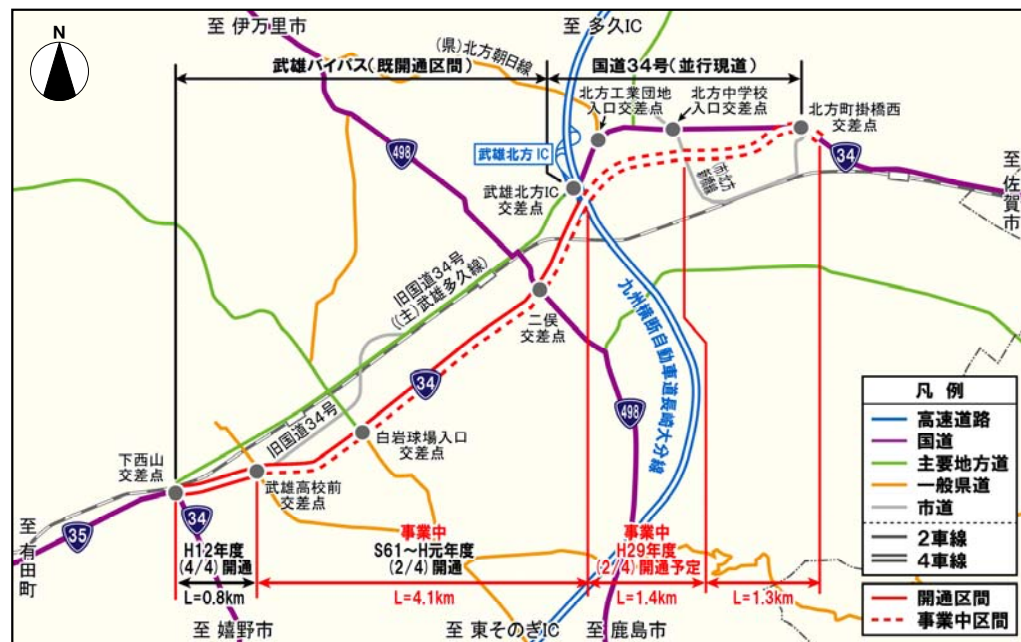


資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、H42交通量推計結果

▲ 交通量の変化(断面①)

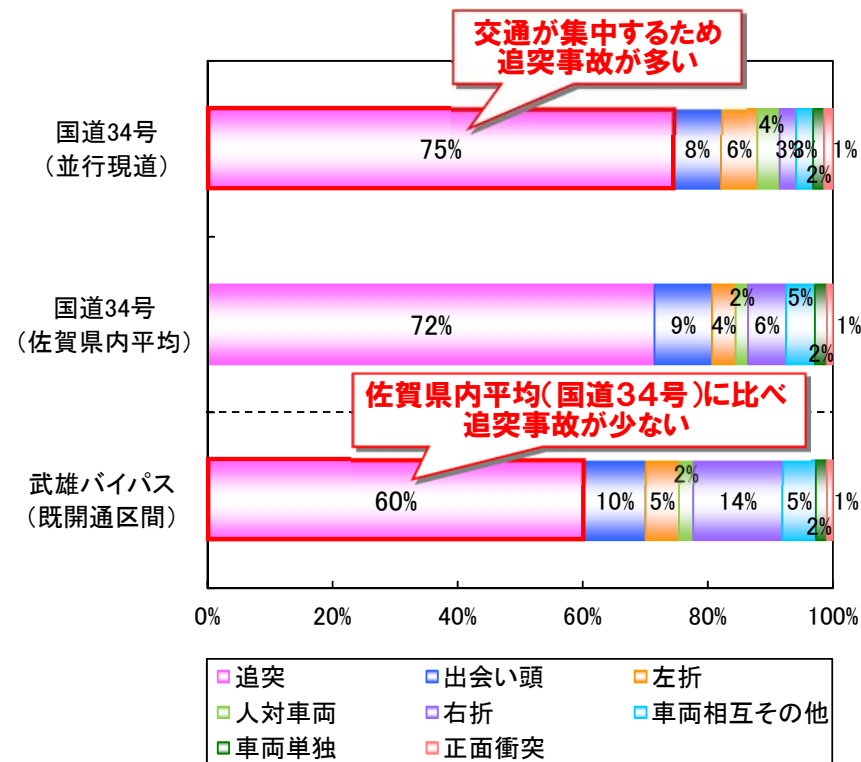
3. 事業の効果・必要性(交通安全性の向上)

- 武雄バイパスと並行する国道34号の死傷事故件数は、県内の国道34号平均と比べると約2倍。事故特性を見てみると交通渋滞に起因していると想定される追突事故が最も多い。
- 武雄バイパスの整備により、国道34号の交通が転換することで事故要因の一つと想定される交通渋滞が緩和され、交通安全性の向上といった交通環境の改善が期待される。



資料：交通事故総合データベース (H24～H27の4年平均)

▲ 交通事故発生状況 (kmあたりの死傷事故件数)



資料：交通事故総合データベース (H24～H27の4年対象)

▲ 武雄バイパス及び並行現道の事故類型

・武雄バイパス整備で生活道路への侵入が少なくなるとともに、国道34号の交通量が減少し横断時の安全性の向上が期待される。



4. 事業の投資効果（前回評価からの変化）

項目	前回評価 (H24年度)				今回評価 (H29年度)				主な変動要因 (現在価値)
事業概要	延長6. 3 km 車線数4車線				延長7. 6 km 車線数4車線				
事業費	2 1 0億円				2 5 0億円				
事業 全体	B／C	2. 3			B／C	2. 3			
	便益 B	9 8 1 億円	走行時間短縮便益	874億円	便益 B	1, 2 6 4 億 円	走行時間短縮便益	1, 129億円	・ 基準年の変更(H24⇒H29)※による増 ・ 将来道路網の条件見直しによる増
			走行経費減少便益	82億円			走行経費減少便益	102億円	
			交通事故減少便益	25億円			交通事故減少便益	33億円	
	費用 C	4 2 0 億円	事業費	381億円	費用 C	5 4 0 億円	事業費	497億円	・ 基準年の変更(H24⇒H29)※による増 ・ 事業費の変更による増
			維持管理費	39億円			維持管理費	42億円	
残事業	B／C	2. 7			B／C	3. 3			
	便益 B	1 1 7 億円	走行時間短縮便益	104億円	便益 B	1 6 9 億円	走行時間短縮便益	145億円	・ 基準年の変更(H24⇒H29)※による増 ・ 将来道路網の条件見直しによる増
			走行経費減少便益	8. 4億円			走行経費減少便益	16億円	
			交通事故減少便益	4. 9億円			交通事故減少便益	8. 9億円	
	費用 C	4 3 億円	事業費	36億円	費用 C	5 2 億円	事業費	44億円	・ 基準年の変更(H24⇒H29)※による増 ・ 事業費の変更による増
			維持管理費	7. 0億円			維持管理費	7. 5億円	
B／Cでは計測 できない効果	医療施設までのアクセス改善　－　搬送時間の短縮による救命率の向上 生活環境の改善　－　自動車の走行性向上による環境への影響低減								

※前回(H27)、費用便益分析を省略

5. 対応方針(原案)

- 武雄バイパスは、武雄市街地の通過交通を排除し、沿線地域の交通環境の改善等を目的とする事業である。
- 費用対効果についても十分高い事業である。
- 事業進捗率は、事業費ベースで約70% [約176億円/約250億円] (平成28年度末)であり、用地進捗率は約77%となっており、平成29年度にはL=1.4km区間が暫定2車線で開通予定。
- なお、武雄市が地元協議の連絡調整を行うなど、地元自治体等からの支援も頂いており、今後の円滑な事業執行が可能である。
- よって、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。

卷 末 資 料

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道34号 武雄バイパス
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) =2.3 (経済的純現在価値 (B-C) =725億円)、経済的内部収益率 (EIRR) =12% 県事業：費用便益比 (B/C) =3.3 (経済的純現在価値 (B-C) =117億円)、経済的内部収益率 (EIRR) =25%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 内滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間① (当該区間／並行区間) について：国道34号 (北方町掛橋西交差点～武雄北方10交差点)、(主)武雄多久線 (武雄北方10交差点～下西山交差点) 並行区間等の渋滞損失時間：73万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率：8割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	並行現道 (国道24号) の旅行速度改善 (武雄北方10交差点～北方町大崎交差点 約25.1km/h向上 [整備前19.9km/h⇒整備後45.0km/h])
	□ 現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台時/日以上、の路切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格荷嵩海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である ☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する ☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり ☐ 中心市街地内で行う事業である ☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である ☐ D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する ☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる ☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り ☐ 地域高規格道路の位置づけあり ☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する ☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する ☐ 環道等における交通不能区間を解消する ☐ 環道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
		☒ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる ☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する ☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する	武雄市⇒佐賀市 [残事業] 約6分短縮（整備前69分⇒整備後63分）：国道34号草雄ハイパス（起点（北方町掛橋西交差点付近）～草雄高校前交差点間 L=6.8km） [全事業] 約12分短縮（整備前75分⇒整備後63分）：国道34号草雄ハイパス（起点（北方町掛橋西交差点付近）～下西山交差点間 L=7.6km）	
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される ☐ 特別立法に基づく事業である ☐ 新規整備の公営公益施設へ直結する道路である	武雄市内の主要観光施設へのアクセス向上が見込まれる（佐賀市⇒武雄市） [残事業] 約6分短縮（整備前69分⇒整備後63分）：国道34号武雄ハイパス（起点（北方町掛橋西交差点付近）～武雄高校前交差点間 L=6.8km） [全事業] 約12分短縮（整備前75分⇒整備後63分）：国道34号武雄ハイパス（起点（北方町掛橋西交差点付近）～下西山交差点間 L=7.6km）	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である ☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を確保することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる ☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定道路を形成する区間が新たにバリアフリー化される		
		☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り ☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する ☐ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
2. 暮らし	個性ある地域の形成	☐ 歩行者・自転車、のための生活空間の形成 ☐ 無電柱化による美しい町並みの形成 ☐ 安全で安心できるくらしの確保		

3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ/年以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる □ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の区間において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される □ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急避難事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり □ 緊急輸送道路が運行中止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する □ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合） □ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される □ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する □ 避難路へ1km以内で到着できる地区が新たに増加する □ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する □ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	事業実施前後の現道等における死傷事故率、500件/億台キロ/年以上である区間・箇所（国道34号（武雄市北方町大字志久～武雄市武雄町武雄）及び（主）武雄多久線（武雄市武雄町武雄～武雄市朝日町大字日久）・9箇所：最大1,149件/億台キロ、）
	災害への備え		
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO₂排出量 ● 現道等における自動車からのNO₂排出削減率 ● 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	CO ₂ 排出削減量：1,405 t-CO ₂ /年（残事業） 2,830 t-CO ₂ /年（全事業） 評価対象区間（現道）：国道34号（北方町掛橋西交差点～武雄北方IC交差点）、（主）武雄多久線（武雄北方IC交差点～下西山交差点） 排出削減量：5.4 t-NO _x /年、排出削減率：約7割削減（残事業） 排出削減量：12.0 t-NO _x /年、排出削減率：約8割削減（全事業） 評価対象区間（現道）：国道34号（北方町掛橋西交差点～武雄北方IC交差点）、（主）武雄多久線（武雄北方IC交差点～下西山交差点） 排出削減量：0.3 t-SPM/年、排出削減率：約7割削減（残事業） 排出削減量：0.7 t-SPM/年、排出削減率：約8割削減（全事業）
	生活環境の改善・保全		未供用区間の並行現道（国道34号）において夜間要請限度を超過している箇所が1箇所（71dB）あり、交通量の減少により夜間要請限度（70dB）を下回ることが期待される
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ その他、環境や景観上の効果が期待される □ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている □ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり □ 他機関との連携プログラムに位置づけられている □ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道34号	武雄バイパス	7.6km	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21,600～29,900	4	九州地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成29年度		
単純合計	241億円	37億円	278億円
うち残事業分	62億円	23億円	86億円
基準年における 現在価値（C）	497億円	42億円	540億円
うち残事業分	44億円	7.5億円	52億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成29年度			
供 用 年	昭和62年度			
単年便益 (初年便益)	8.5億円	0.83億円	0.10億円	9.4億円
基準年における 現在価値（B）	1,129億円	102億円	33億円	1,264億円
うち残事業分	145億円	16億円	8.9億円	169億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.3
経済的純現在価値（事業全体）	725億円
経済的内部収益率（事業全体）	12%
費用便益比（残事業）	3.3
経済的純現在価値（残事業）	117億円
経済的内部収益率（残事業）	25%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,600～29,900	±10%	2.1 ～ 2.6
事業費	241億円	±10%	2.3 ～ 2.4
事業期間	56年	±20%	2.3 ～ 2.4

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	21,600～29,900	±10%	2.9 ～ 3.6
事業費	62億円	±10%	3.0 ～ 3.6
事業期間	12年	±20%	2.9 ～ 3.6

交通状況の変化

様式－３①

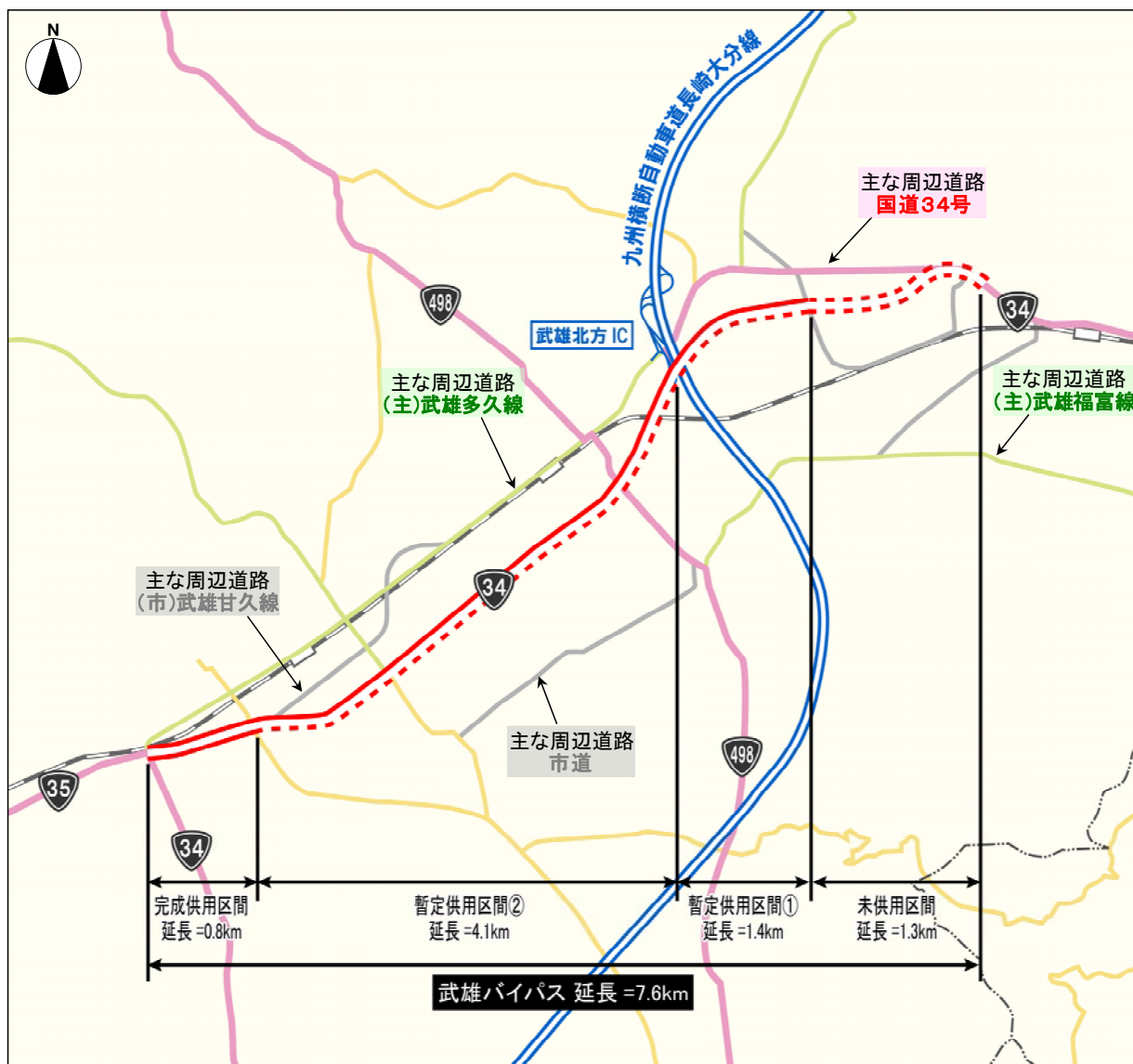
事業名：一般国道34号 武雄バイパス

(推計時点 H42年) (事業全体)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 未供用区間〕 ：1.3km		交通量	[台/日]	0.00	21,600
		走行時間	[分]	0.00	1.6
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	5.99
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 暫定供用区間①〕 ：1.4km		交通量	[台/日]	0.00	22,800
		走行時間	[分]	0.00	1.6
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	6.39
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 暫定供用区間②〕 ：4.1km		交通量	[台/日]	0.00	25,900
		走行時間	[分]	0.00	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	23.94
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 完成供用区間〕 ：0.8km		交通量	[台/日]	22,700	28,400
		走行時間	[分]	1.6	1.2
		走行時間費用	[億円/年]	6.37	6.08
②主な周 辺道路	国道34号 ：2.6km	交通量	[台/日]	18,100	3,500
		走行時間	[分]	5.6	3.5
		走行時間費用	[億円/年]	17.49	2.15
	(主)武雄 多久線 ：4.6km	交通量	[台/日]	15,200	4,400
		走行時間	[分]	13	7.9
		走行時間費用	[億円/年]	32.85	6.06
	(主)武雄 武富線 ：2.5km	交通量	[台/日]	8,100	6,500
		走行時間	[分]	3.8	3.8
		走行時間費用	[億円/年]	5.32	4.20
	(市)武雄 甘久線 ：2.0km	交通量	[台/日]	2,100	1,300
		走行時間	[分]	4.4	4.4
		走行時間費用	[億円/年]	1.56	0.97
	市道 ：2.7km	交通量	[台/日]	8,400	300
		走行時間	[分]	8.9	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	12.46	0.31
③その他道路合計 ：2,044.6km		走行時間費用	[億円/年]	4,472.06	4,467.26

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：2,066.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,548.11	4,523.36	24.75

事業名：一般国道34号 武雄バイパス



交通状況の変化

様式－３①

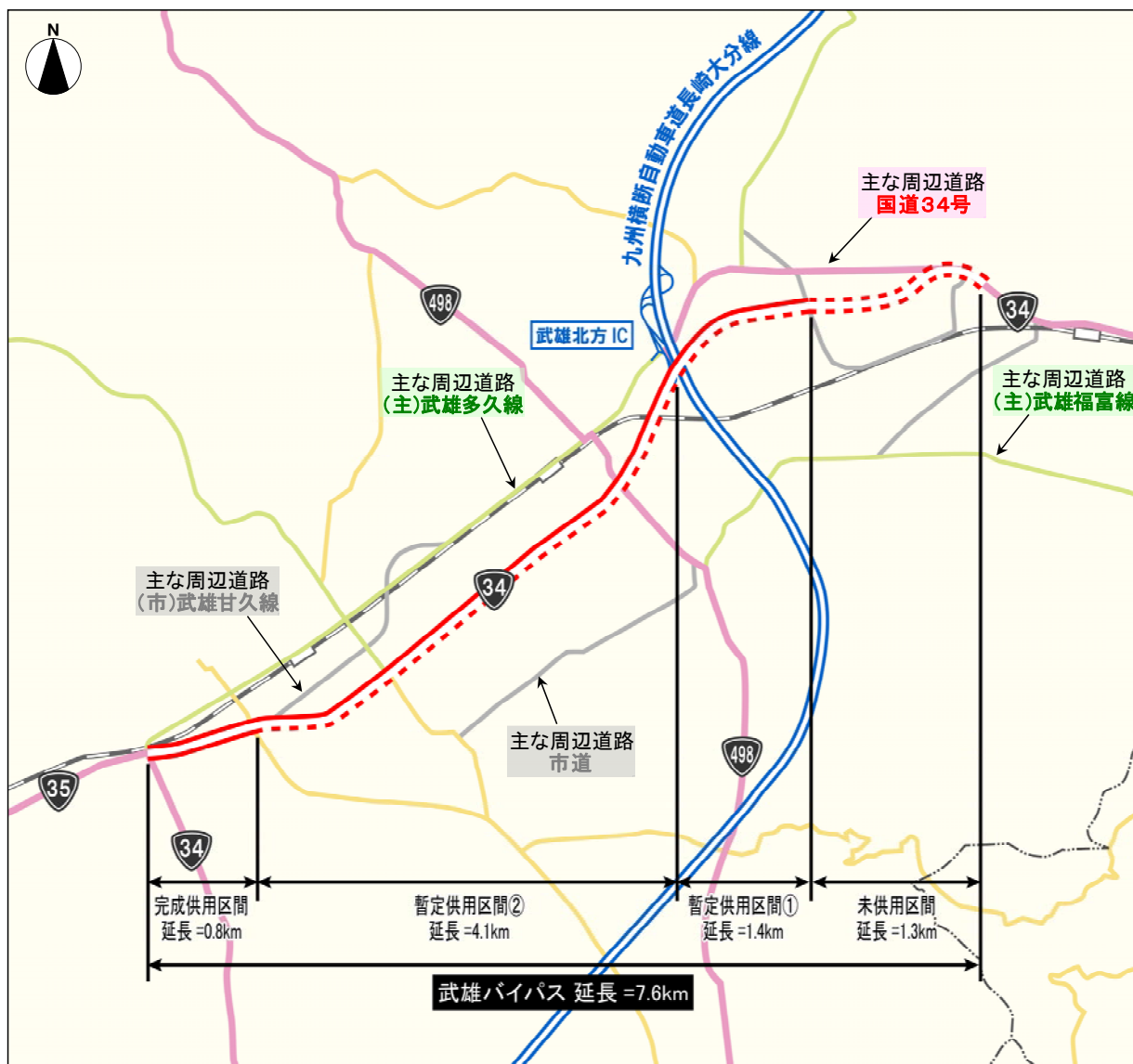
事業名：一般国道34号 武雄バイパス

(推計時点 H42年) (残事業)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 未供用区間〕 ：1.3km		交通量	[台/日]	0.00	21,600
		走行時間	[分]	0.00	1.6
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	5.99
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 暫定供用区間①〕 ：1.4km		交通量	[台/日]	10,900	22,800
		走行時間	[分]	1.9	1.6
		走行時間費用	[億円/年]	3.52	6.39
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 暫定供用区間②〕 ：4.1km		交通量	[台/日]	19,400	25,900
		走行時間	[分]	6.8	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	22.61	23.94
①新設・改築道路 〔武雄バイパス 完成供用区間〕 ：0.8km		交通量	[台/日]	27,500	28,400
		走行時間	[分]	1.2	1.2
		走行時間費用	[億円/年]	5.82	6.08
②主な周 辺道路	国道34号 ：2.6km	交通量	[台/日]	16,200	3,500
		走行時間	[分]	5.1	3.5
		走行時間費用	[億円/年]	15.17	2.15
	(主)武雄 多久線 ：4.6km	交通量	[台/日]	8,100	4,400
		走行時間	[分]	8.0	7.9
		走行時間費用	[億円/年]	11.06	6.06
	(主)武雄 武富線 ：2.5km	交通量	[台/日]	8,000	6,500
		走行時間	[分]	3.8	3.8
		走行時間費用	[億円/年]	5.19	4.20
	(市)武雄 甘久線 ：2.0km	交通量	[台/日]	1,500	1,300
		走行時間	[分]	3.5	4.4
		走行時間費用	[億円/年]	1.15	0.97
	市道 ：2.7km	交通量	[台/日]	300	300
		走行時間	[分]	5.4	5.4
		走行時間費用	[億円/年]	0.32	0.31
③その他道路合計 ：2,044.6km		走行時間費用	[億円/年]	4,468.00	4,467.26

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：2,066.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,532.84	4,523.36	9.49

事業名：一般国道34号 武雄バイパス



費用便益分析の条件

事業名：一般国道34号 武雄バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成29年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☐ ()	
		複数時点での推計	☒ (H17, H42)	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		無	☒	
	開発交通量の考慮	有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日
		無		
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐	
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
	その他()	☐		

(3)

道 4-1-11

事業名:一般国道34号 武雄バイパス

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☐	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

					維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)		
箇所名：一般国道34号 武雄バイパス（事業全体）					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.18	7.6	1.39
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)	維持管理費(億円)		
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-13年目	S 49	5.4005	71.1	0.15	1.17		
-12年目	S 50	5.1928	75.2	0.20	1.42		
-11年目	S 51	4.9931	81.5	0.20	1.26		
-10年目	S 52	4.8010	86.4	0.10	0.57		
-9年目	S 53	4.6164	90.0	0.10	0.53		
-8年目	S 54	4.4388	92.4	0.20	0.99		
-7年目	S 55	4.2681	98.2	1.10	4.92		
-6年目	S 56	4.1039	100.7	2.30	9.64		
-5年目	S 57	3.9461	101.9	3.11	12.40		
-4年目	S 58	3.7943	102.9	6.30	23.90		
-3年目	S 59	3.6484	105.0	9.90	35.41		
-2年目	S 60	3.5081	105.7	13.40	45.74		
-1年目	S 61	3.3731	107.6	16.20	52.27		
供用開始年次	S 62	3.2434	107.3	16.19	50.34	0.35	1.07
1年目	S 63	3.1187	107.9	19.83	58.99	0.35	1.03
2年目	H 1	2.9987	110.8	8.88	24.73	0.46	1.28
3年目	H 2	2.8834	113.3	6.40	16.77	0.51	1.34
4年目	H 3	2.7725	116.0	2.14	5.27	0.51	1.26
5年目	H 4	2.6658	117.6	3.21	7.50	0.51	1.20
6年目	H 5	2.5633	117.9	0.29	0.65	0.51	1.15
7年目	H 6	2.4647	117.8	1.45	3.13	0.51	1.10
8年目	H 7	2.3699	117.1	1.23	2.56	0.51	1.07
9年目	H 8	2.2788	116.6	1.71	3.45	0.51	1.03
10年目	H 9	2.1911	117.5	1.04	1.99	0.51	0.98
11年目	H 10	2.1068	116.9	7.33	13.60	0.51	0.95
12年目	H 11	2.0258	115.2	23.84	43.14	0.51	0.93
13年目	H 12	1.9479	113.8	3.43	6.04	0.51	0.90
14年目	H 13	1.8730	112.4			0.60	1.03
15年目	H 14	1.8009	110.5			0.60	1.01
16年目	H 15	1.7317	109.0			0.60	0.98
17年目	H 16	1.6651	108.0			0.60	0.95
18年目	H 17	1.6010	106.7			0.60	0.93
19年目	H 18	1.5395	105.9			0.60	0.90
20年目	H 19	1.4802	105.0			0.60	0.87
21年目	H 20	1.4233	104.4			0.60	0.84
22年目	H 21	1.3686	103.0	3.03	4.14	0.60	0.82
23年目	H 22	1.3159	101.3	4.52	6.05	0.60	0.80
24年目	H 23	1.2653	99.8	0.71	0.93	0.60	0.79
25年目	H 24	1.2167	99.0	4.57	5.78	0.60	0.76
26年目	H 25	1.1699	99.0	0.52	0.64	0.60	0.73
27年目	H 26	1.1249	101.5	2.08	2.38	0.60	0.69
28年目	H 27	1.0816	102.9	2.29	2.47	0.60	0.65
29年目	H 28	1.0400	102.9	4.12	4.29	0.60	0.63
30年目	H 29	1.0000	102.9	7.08	7.08	0.60	0.60
31年目	H 30	0.9615	102.9	0.37	0.36	0.78	0.75
32年目	H 31	0.9246	102.9	0.37	0.34	0.78	0.72
33年目	H 32	0.8890	102.9	1.37	1.22	0.78	0.69
34年目	H 33	0.8548	102.9	2.30	1.96	0.78	0.67
35年目	H 34	0.8219	102.9	2.32	1.91	0.78	0.64
36年目	H 35	0.7903	102.9	11.07	8.75	0.96	0.76
37年目	H 36	0.7599	102.9	9.61	7.30	0.96	0.73
38年目	H 37	0.7307	102.9	3.98	2.91	0.96	0.70
39年目	H 38	0.7026	102.9	2.29	1.61	0.96	0.68
40年目	H 39	0.6756	102.9	9.26	6.26	0.96	0.65
41年目	H 40	0.6496	102.9	8.33	5.41	0.96	0.63
42年目	H 41	0.6246	102.9	10.85	6.78	0.96	0.60
43年目	H 42	0.6006	102.9			1.29	0.78
44年目	H 43	0.5775	102.9			1.29	0.75
45年目	H 44	0.5553	102.9			1.29	0.72
46年目	H 45	0.5339	102.9			1.29	0.69
47年目	H 46	0.5134	102.9			1.29	0.66
48年目	H 47	0.4936	102.9			1.29	0.64
49年目	H 48	0.4746	102.9	-20.18	-9.58	1.29	0.61
合 計				221.11	497.34	36.71	42.35
単純事業費計				241.30		36.71	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

					維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)		
箇所名: 一般国道34号 武雄バイパス(残事業)					単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
					0.08	6.8	0.56
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)	維持管理費(億円)		
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-5年目	H 30	0.9615	102.9	0.37	0.36		
-4年目	H 31	0.9246	102.9	0.37	0.34		
-3年目	H 32	0.8890	102.9	1.37	1.22		
-2年目	H 33	0.8548	102.9	2.30	1.96		
-1年目	H 34	0.8219	102.9	2.32	1.91		
供用開始年次	H 35	0.7903	102.9	11.07	8.75	0.18	0.15
1年目	H 36	0.7599	102.9	9.61	7.30	0.18	0.14
2年目	H 37	0.7307	102.9	3.98	2.91	0.18	0.13
3年目	H 38	0.7026	102.9	2.29	1.61	0.18	0.13
4年目	H 39	0.6756	102.9	9.26	6.26	0.18	0.12
5年目	H 40	0.6496	102.9	8.33	5.41	0.18	0.12
6年目	H 41	0.6246	102.9	10.85	6.78	0.18	0.12
7年目	H 42	0.6006	102.9			0.51	0.31
8年目	H 43	0.5775	102.9			0.51	0.30
9年目	H 44	0.5553	102.9			0.51	0.29
10年目	H 45	0.5339	102.9			0.51	0.27
11年目	H 46	0.5134	102.9			0.51	0.26
12年目	H 47	0.4936	102.9			0.51	0.25
13年目	H 48	0.4746	102.9			0.51	0.24
14年目	H 49	0.4564	102.9			0.51	0.23
15年目	H 50	0.4388	102.9			0.51	0.23
16年目	H 51	0.4220	102.9			0.51	0.22
17年目	H 52	0.4057	102.9			0.51	0.21
18年目	H 53	0.3901	102.9			0.51	0.20
19年目	H 54	0.3751	102.9			0.51	0.19
20年目	H 55	0.3607	102.9			0.51	0.19
21年目	H 56	0.3468	102.9			0.51	0.18
22年目	H 57	0.3335	102.9			0.51	0.17
23年目	H 58	0.3207	102.9			0.51	0.16
24年目	H 59	0.3083	102.9			0.51	0.16
25年目	H 60	0.2965	102.9			0.51	0.15
26年目	H 61	0.2851	102.9			0.51	0.15
27年目	H 62	0.2741	102.9			0.51	0.14
28年目	H 63	0.2636	102.9			0.51	0.14
29年目	H 64	0.2534	102.9			0.51	0.13
30年目	H 65	0.2437	102.9			0.51	0.13
31年目	H 66	0.2343	102.9			0.51	0.12
32年目	H 67	0.2253	102.9			0.51	0.12
33年目	H 68	0.2166	102.9			0.51	0.11
34年目	H 69	0.2083	102.9			0.51	0.11
35年目	H 70	0.2003	102.9			0.51	0.10
36年目	H 71	0.1926	102.9			0.51	0.10
37年目	H 72	0.1852	102.9			0.51	0.10
38年目	H 73	0.1780	102.9			0.51	0.09
39年目	H 74	0.1712	102.9			0.51	0.09
40年目	H 75	0.1646	102.9			0.51	0.08
41年目	H 76	0.1583	102.9			0.51	0.08
42年目	H 77	0.1522	102.9			0.51	0.08
43年目	H 78	0.1463	102.9			0.51	0.08
44年目	H 79	0.1407	102.9			0.51	0.07
45年目	H 80	0.1353	102.9			0.51	0.07
46年目	H 81	0.1301	102.9			0.51	0.07
47年目	H 82	0.1251	102.9			0.51	0.06
48年目	H 83	0.1203	102.9			0.51	0.06
49年目	H 84	0.1157	102.9	-4.68	-0.54	0.51	0.06
合 計				57.44	44.26	23.41	7.45
単純事業費計				62.12		23.41	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道34号 武雄バイパス（事業全体）

年度 (基準年)	年度 H29	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合 計 (億円)																																											
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②		③	現在価値 (③×(A))	便益合計 (①～③)	割引率4%																																							
年次	供用開始年次	S 62	1年目	2年目	H 1	3年目	H 2	4年目	H 3	5年目	H 4	6年目	H 5	7年目	H 6	8年目	H 7	9年目	H 8	10年目	H 9	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目	21年目	22年目	23年目	24年目	25年目	26年目	27年目	28年目	29年目	30年目	31年目	32年目	33年目	34年目	35年目	36年目	37年目	38年目	39年目	40年目	41年目	42年目	43年目	44年目	45年目	46年目	47年目	48年目	49年目	合計

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道34号 武雄バイパス（残事業）

年度 (基準年)	年度 H29	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計		現在価値 (A)×②	③	現在価値 (③×(A))
供用開始年次	H 35	0.99810	0.99144	0.99922	0.99705	102.9	5.29	0.85	0.86	6.99	5.53	0.81	0.12	0.33	1.26	1.00	0.21	0.16	8.46	6.69
1年目	H 36	0.99809	0.99136	0.99922	0.99704	102.9	5.28	0.84	0.86	6.98	5.50	0.81	0.12	0.33	1.26	0.96	0.21	0.16	8.44	6.41
2年目	H 37	0.99809	0.99129	0.99921	0.99704	102.9	5.27	0.83	0.86	6.96	5.08	0.81	0.12	0.33	1.25	0.92	0.21	0.15	8.42	6.15
3年目	H 38	0.99809	0.99121	0.99921	0.99703	102.9	5.26	0.82	0.86	6.92	4.88	0.80	0.12	0.33	1.25	0.88	0.21	0.14	8.40	5.90
4年目	H 39	0.99808	0.99113	0.99921	0.99702	102.9	5.25	0.82	0.86	6.92	4.68	0.80	0.12	0.33	1.25	0.84	0.20	0.14	8.38	5.66
5年目	H 40	0.99808	0.99105	0.99921	0.99701	102.9	5.24	0.81	0.86	6.90	4.49	0.80	0.12	0.33	1.25	0.81	0.20	0.13	8.35	5.43
6年目	H 41	0.99808	0.99107	0.99921	0.99700	102.9	5.23	0.80	0.86	6.89	4.30	0.80	0.12	0.33	1.24	0.80	0.20	0.13	8.33	5.21
7年目	H 42	0.99338	0.99360	1.00074	0.99419	102.9	7.28	0.93	1.27	9.49	5.70	0.55	0.06	0.19	0.80	0.48	0.68	0.41	10.96	6.58
8年目	H 43	0.99333	0.99356	1.00074	0.99416	102.9	7.24	0.92	1.27	9.43	5.45	0.55	0.06	0.19	0.80	0.46	0.67	0.39	10.90	6.30
9年目	H 44	0.99329	0.99352	1.00074	0.99412	102.9	7.19	0.92	1.27	9.38	5.21	0.54	0.06	0.19	0.79	0.44	0.67	0.37	10.84	6.02
10年目	H 45	0.99324	0.99348	1.00074	0.99409	102.9	7.14	0.91	1.27	9.33	4.98	0.54	0.06	0.19	0.79	0.42	0.67	0.36	10.78	5.76
11年目	H 46	0.99320	0.99343	1.00074	0.99406	102.9	7.09	0.91	1.28	9.27	4.76	0.54	0.06	0.19	0.78	0.40	0.66	0.34	10.72	5.50
12年目	H 47	0.99315	0.99339	1.00074	0.99402	102.9	7.04	0.90	1.28	9.22	4.55	0.53	0.06	0.19	0.78	0.38	0.66	0.33	10.66	5.26
13年目	H 48	0.99310	0.99335	1.00074	0.99398	102.9	6.99	0.89	1.28	9.17	4.35	0.53	0.06	0.19	0.78	0.37	0.65	0.31	10.60	5.03
14年目	H 49	0.99305	0.99330	1.00074	0.99395	102.9	6.95	0.89	1.28	9.11	4.16	0.53	0.06	0.19	0.77	0.35	0.65	0.30	10.54	4.81
15年目	H 50	0.99301	0.99326	1.00074	0.99391	102.9	6.90	0.88	1.28	9.06	3.98	0.52	0.06	0.19	0.77	0.34	0.65	0.28	10.47	4.60
16年目	H 51	0.99296	0.99321	1.00074	0.99387	102.9	6.85	0.88	1.28	9.01	3.80	0.52	0.06	0.19	0.76	0.32	0.64	0.27	10.41	4.39
17年目	H 52	0.99291	0.99316	1.00074	0.99384	102.9	6.80	0.87	1.28	8.95	3.63	0.51	0.06	0.19	0.76	0.31	0.64	0.26	10.35	4.20
18年目	H 53	0.99286	0.99312	1.00074	0.99380	102.9	6.75	0.86	1.28	8.90	3.47	0.51	0.06	0.19	0.76	0.30	0.63	0.25	10.29	4.01
19年目	H 54	0.99280	0.99307	1.00074	0.99376	102.9	6.71	0.86	1.28	8.85	3.32	0.51	0.06	0.19	0.75	0.28	0.63	0.24	10.23	3.84
20年目	H 55	0.99275	0.99302	1.00074	0.99372	102.9	6.66	0.85	1.28	8.79	3.17	0.50	0.06	0.19	0.75	0.27	0.63	0.23	10.17	3.67
21年目	H 56	0.99270	0.99297	1.00074	0.99368	102.9	6.61	0.85	1.29	8.74	3.03	0.50	0.06	0.19	0.74	0.26	0.62	0.22	10.11	3.51
22年目	H 57	0.99265	0.99292	1.00074	0.99364	102.9	6.56	0.84	1.29	8.69	2.90	0.50	0.06	0.19	0.74	0.25	0.62	0.21	10.05	3.35
23年目	H 58	0.99259	0.99287	1.00073	0.99360	102.9	6.51	0.83	1.29	8.63	2.77	0.49	0.06	0.19	0.74	0.24	0.62	0.20	9.99	3.20
24年目	H 59	0.99254	0.99282	1.00073	0.99356	102.9	6.46	0.83	1.29	8.58	2.65	0.49	0.06	0.19	0.73	0.23	0.61	0.19	9.92	3.06
25年目	H 60	0.99248	0.99277	1.00073	0.99352	102.9	6.42	0.82	1.29	8.53	2.53	0.49	0.06	0.19	0.73	0.22	0.61	0.18	9.86	2.92
26年目	H 61	0.99242	0.99272	1.00073	0.99347	102.9	6.37	0.82	1.29	8.47	2.42	0.48	0.06	0.19	0.73	0.21	0.60	0.17	9.80	2.79
27年目	H 62	0.99236	0.99266	1.00073	0.99343	102.9	6.32	0.81	1.29	8.42	2.31	0.48	0.05	0.19	0.72	0.20	0.60	0.16	9.74	2.67
28年目	H 63	0.99231	0.99261	1.00073	0.99339	102.9	6.27	0.80	1.29	8.37	2.21	0.47	0.05	0.19	0.72	0.19	0.60	0.16	9.68	2.55
29年目	H 64	0.99225	0.99255	1.00073	0.99334	102.9	6.22	0.80	1.29	8.31	2.11	0.47	0.05	0.19	0.71	0.18	0.59	0.15	9.62	2.44
30年目	H 65	0.99219	0.99250	1.00073	0.99330	102.9	6.17	0.79	1.29	8.26	2.01	0.47	0.05	0.19	0.71	0.17	0.59	0.14	9.56	2.33
31年目	H 66	0.99212	0.99244	1.00073	0.99325	102.9	6.13	0.79	1.29	8.21	1.92	0.46	0.05	0.19	0.71	0.17	0.58	0.14	9.50	2.23
32年目	H 67	0.99206	0.99238	1.00073	0.99321	102.9	6.08	0.78	1.30	8.15	1.84	0.46	0.05	0.19	0.70	0.16	0.58	0.13	9.44	2.13
33年目	H 68	0.99200	0.99232	1.00073	0.99316	102.9	6.03	0.77	1.30	8.10	1.75	0.46	0.05	0.19	0.70	0.15	0.58	0.12	9.37	2.03
34年目	H 69	0.99193	0.99227	1.00073	0.99312	102.9	5.98	0.77	1.30	8.05	1.68	0.45	0.05	0.19	0.69	0.14	0.57	0.12	9.31	1.94
35年目	H 70	0.99187	0.99221	1.00073	0.99307	102.9	5.93	0.76	1.30	7.99	1.60	0.45	0.05	0.19	0.69	0.14	0.57	0.11	9.25	1.85
36年目	H 71	0.99180	0.99214	1.00073	0.99302	102.9	5.89	0.76	1.30	7.94	1.53	0.45	0.05	0.19	0.69	0.13	0.56	0.11	9.19	1.77
37年目	H 72	0.99173	0.99208	1.00073	0.99297	102.9	5.84	0.75	1.30	7.89	1.46	0.44	0.05	0.19	0.68	0.13	0.56	0.10	9.13	1.69
38年目	H 73	0.99166	0.99202	1.00073	0.99292	102.9	5.79	0.75	1.30	7.84	1.40	0.44	0.05	0.19	0.68	0.12	0.56	0.10	9.07	1.61
39年目	H 74	0.99159	0.99195	1.00073	0.99287	102.9	5.74	0.74	1.30	7.78	1.33	0.43	0.05	0.19	0.67	0.12	0.55	0.09	9.01	1.54
40年目	H 75	0.99152	0.99189	1.00073	0.99282	102.9	5.69	0.73	1.30	7.73	1.27	0.43	0.05	0.19	0.67	0.11	0.55	0.09	8.95	1.47
41年目	H 76	0.99145	0.99182	1.00073	0.99277	102.9	5.64	0.73	1.30	7.68	1.21	0.43	0.05	0.19	0.67	0.11	0.54	0.09	8.89	1.41
42年目	H 77	0.99138	0.99175	1.00072	0.99271	102.9	5.60	0.72	1.31	7.62	1.16	0.42	0.05	0.19	0.66	0.10	0.54	0.08	8.82	1.34
43年目	H 78	0.99130	0.99169	1.00072	0.99266	102.9	5.55	0.72	1.31	7.57	1.11	0.42	0.05	0.19	0.66	0.10	0.54	0.08	8.76	1.28
44年目	H 79	0.99123	0.99162	1.00072	0.99261	102.9	5.50	0.71	1.31	7.52	1.06	0.42	0.05	0.19	0.65	0.09	0.53	0.07	8.70	1.22
45年目	H 80	0.99115	0.99155	1.00072	0.99255	102.9	5.45	0.70	1.31	7.46	1.01	0.41	0.05	0.19	0.65	0.09	0.53	0.07	8.64	1.17
46年目	H 81	0.99107	0.99147	1.00072	0.99250	102.9	5.40	0.70	1.31	7.41	0.96	0.41	0.05	0.19	0.65	0.08	0.52	0.07	8.58	1.12
47年目	H 82	0.99101	0.99141	1.00072	0.99245	102.9	5.35	0.69	1.31	7.36	0.92	0.41	0.05	0.19	0.64	0.08	0.52	0.07	8.52	1.07
48年目	H 83	0.99093	0.99135	1.00072	0.99240	102.9	5.31	0.69	1.31	7.30	0.88	0.40	0.05	0.19	0.64	0.08	0.52	0.06	8.46	1.02
49年目	H 84	0.99086	0.99128	1.00071	0.99234	102.9	5.26	0.68	1.31	7.25	0.84	0.40	0.05	0.19	0.64	0.07	0.51	0.06	8.40	0.97
合 計							306.46	40.37	61.56	408.39	144.63	26.03	3.17	10.40	39.60	15.59	27.05	8.88	475.04	169.10

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道34号	武雄バイパス	4	7.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					18,165	
	改良費				8,763	
		土工	m ³	124,223	197	切土(22,724m ³)盛土(101,499m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	81,021	3,902	サンドマット、ペーパードレーン、深層杭、DJM
		法面工	m ²	758	0	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	529	L型擁壁工
		管渠工	m	394	7	
		函渠工	m	950	3,036	避越橋等
		排水工	m	21,285	402	
		中央分離帯工	m	6,735	61	
		雑工	式	1	628	構造物撤去工
	橋梁費				6,752	
		100m以上	m	1,965	4,743	連続高架橋
		100m未満	m	252	2,009	PC橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				690	
		IC	箇所			
		JCT	箇所	1	690	
	舗装費				1,596	
		車道舗装	m ²	106,954	1,328	
		歩道舗装	m ²	36,587	267	
	付帯施設費				364	
		交通管理施設工	式	1	364	標識工、防護柵工、照明工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					4,661	
	用地費			m ²	2,018	
		宅地	m ²	56,537	1,592	
		田畑	m ²	121,492	426	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式	1	2,643	
③間接経費			式	1	2,170	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					24,996	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道34号	武雄バイパス	4	6.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					4,378	
	改良費				1,886	
		土工	m ³	53,806	160	盛土(5,915m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	57,100	740	
		法面工	m ²	320	0	盛土法面
		擁壁工	式	1	150	
		管渠工	m			
		函渠工	m	92	151	
		排水工	m	6,123	146	
		中央分離帯工	m	5,206	53	
		雑工	式	1	486	
	橋梁費				1,714	
		100m以上	m	830	1,468	連続高架橋
		100m未満	m	58	246	PC橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				699	
		車道舗装	m ²	62,864	634	
		歩道舗装	m ²	15,607	65	
	付帯施設費				80	
		交通管理施設工	式	1	80	標識工、防護柵工、照明工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,308	
	用地費			m ²	468	
		宅地	m ²	12,937	388	
		田畑	m ²	6,192	80	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費	式	1		840	
③間接経費			式	1	986	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					6,672	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道34号	武雄バイパス	4	7.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.6	871	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,094	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,965	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道34号	武雄バイパス	4	6.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.8	212	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,317	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			2,528	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。